

理工学研究科羽鳥剛史准教授が土木学会論文奨励賞を受賞

【受賞内容】

平成27年6月12日（金）に東京都で開催された土木学会第101回通常総会において、理工学研究科の羽鳥剛史准教授が論文奨励賞を受賞しました。

この賞は、土木学会論文集等の土木学会刊行物に論文を発表し、土木工学における学術・技術の進歩、発展に寄与し、独創性と将来性に富むものと認められた若手研究者に与えられるものです。受賞論文「討議理論と公的討論の規範的評価」は、政治学における討議理論の知見を踏まえて、個々の討論から構成される討論システム全体を対象とした包括的な理論体系を提示し、公的討論の満たすべき規範的要件や現実の討論を評価するための基準を明らかにしたものです。本研究の理論的検討は、住民参加や合意形成問題に関わる学術的発展に加え、実務的・政策的課題の克服に大きく寄与し得るものと期待されることから、論文奨励賞に相応しいと認められ、今回の受賞になりました。

【賞状・副賞の楯】

